

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙

発行:武笠真次

〒336-0011さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階 編集:澤藤俊昭

<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>

<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

目次

- 1 p) 第45期定期総会報告
- 2 p) "、第17期登山学校・開校式
- 3 p) 震災支援活動報告救助隊報告、他
- 4 p) 救助隊報告、他
- 5 p) 岩ネット活動、女性委員会報告
- 6 p) 県民クリーンハイク報告
- 7 p) "
- 8 p) 理事会報告、お知らせ、



菖蒲

第45期定期総会終える！



埼玉県勤労者山岳連盟

埼玉県勤労者山岳連盟第四十五期定期総会が三月二十五日(日)、さいたま市高鼻コミュニティセンターに於いて開催され、無事終えることが出来ました。徳重副理事長の司会のもと、始めに武笠理事長の挨拶では昨年の東日本大震災から一年が経過し、これまでの県連内のボランティア支援活動へのお礼と、今後も引き続き支援活動への協力をお願いが述べられました。またこの一年間安全登山と事故防止活動や県連活動への協力に対する感謝とお礼、無事に総会を迎えられた喜びの気持ちを述べられました。

また、来賓に変わっての日本勤労者山岳連盟の活動報告では、

埼玉県勤労者山岳連盟第四十五期定期総会が三月二十五日(日)、さいたま市高鼻コミュニティセンターに於いて開催され、無事終えることが出来ました。

二月に開催された第三〇回全国総会で「個人会員制度導入が決定され、会員拡大へ向けての大改革が始動した。」と報告。

次に、議長に富田(やまなみハイキングクラブ)伊藤(わらび山の会)書記に石川(峠山の会)井芹(登攀クラブ岩つばめ)の代議員等を選出し、資格審査では代議員定数五十七名に対し、出席代議員三十三名、委任十三名で総会が成立しているとの報告により、議事に入りました。

始めに「第四十四期活動報告」を武笠理事長から報告された後、各専門委員会と登山学校・救助隊活動がそれぞれの担当理事から報告されました。

主な活動報告では、昨年の総会が東北大地震の影響で六月に延期された為、活動が出遅れた事を詫言、まずは全国総会報告で大きな議題の一つ、個人会員制の提案には埼玉県連盟は保留とした事。また今後各連盟への制度移行については今回の全国総会でもいろいろな意見が出された事。その他にシカ問題、山ガールの動向などが話されたとの報告がありました。

議案書に掲げた内容では組織拡大で青年対策等も出来ないままに、一団体が脱退し、現在二十八団体 六二一の会員数とどまった。事故防止や各ネットの充実では登山学校や安全教育担当者会議と救助隊や女性・岩ネット・HC委員会それぞれに頑張っていた



昼食をはさみ、午後は議事を一時より再開。議事に入る前に県功労者表彰として、新座山の会・杉江勲さん、三郷山の会・佐藤久子さんの他、加盟団体の永年会員表彰がありました。

午後からは各専門委員会の活動方針案の提案、各ブロック活動方針案、ならび「第四十四期会計決算報告と会計監査報告」、そして「第四十五期予算案」の提案が行われ、その後、質疑応答になりました。

引き続き、各委員会の活動報告、そしてブロック活動報告(議案書どおり)がありました。

続いて、「第四十五期活動方針案」が武笠理事長から提案され、昼食となりました。

市民に向けての情報提供。

②個人会員制度は全国の動向を見据え今後検討して行く。

③県連盟創立五〇周年の取り組みの準備をしていく。

④事故防止活動についても引き続き、各加盟団体はむろん県連としても行事・企画等、万全の体制で、安全意識の向上を図る。

⑤東日本支援活動については、今後も体制を整備し協力して行く。各委員会の提案では①第十七期登山学校を受講者 三十二名、運営委員は十四名で実施。②ホームページ委員会では内容見直し、各委員会にHP担当者決定。③女性委員会では震災支援女性交流集會に参加。他山筋ゴ―の普及、「救急法ガイド」の活用、支援Tシャツ販売の継続。④自然保護委員会は、足尾植樹、クリーンハイクの実施。他、登山道放射線計測を実施。計を貸し出します。



⑦ハイキング委員会は地図読み講習(実技)、放射能汚染を調べる為のハイキングを計画した。⑧沢ネット・雪山ネット

⑨海外P参加費を実費に変更。⑩海外委員会 議案通り⑪山スキーネット 議案通り⑫岩ネット 救助隊 救助体制の充実。⑬救助マニュアル1,000円の普及。⑭P 遭難時の対応マニュアルあり。ブロック活動方針では、各ブロックともに年間行事のクリーンハイクの他に、独自の交流山行や組織内交流を予定。第四十四期決算報告(登山学校、救助隊を含む)と監査報告、第四十五期予算案の提案がなされ、ともに議案通り承認されました。

活動報告と方針案の質疑では①登山学校関係予算の記載について:運営委員会内訳は助成金10万+対策基金5万。

②議事進行の在り方:来年度以降はご意見の通りに進行。

③岩ネット、ブロック活動費の決算報告の詳細について:各ブロック担当より活動費の具体的な支出について説明がなされた。岩ネット:必要装備、講師交通費補助等に支出。



④事故防止活動についても引き続き、各加盟団体はむろん県連としても行事・企画等、万全の体制で、安全意識の向上を図る。

⑤東日本支援活動については、今後も体制を整備し協力して行く。各委員会の提案では①第十七期登山学校を受講者 三十二名、運営委員は十四名で実施。②ホームページ委員会では内容見直し、各委員会にHP担当者決定。③女性委員会では震災支援女性交流集會に参加。他山筋ゴ―の普及、「救急法ガイド」の活用、支援Tシャツ販売の継続。④自然保護委員会は、足尾植樹、クリーンハイクの実施。他、登山道放射線計測を実施。計を貸し出します。

⑤機関紙委員会はHP活用とあわせ、編集の簡素化、電子データでの寄稿、印刷・送料代節約を図ります。⑥遭難防止・安全教育委員会は議案 通り。

⑦ハイキング委員会は地図読み講習(実技)、放射能汚染を調べる為のハイキングを計画した。⑧沢ネット・雪山ネット

◎第45期 埼玉県勤労者山岳連盟 新役員体制

- 理事長 武笠真次 (わらび山の会)
- 副理事長 徳重博文 (大宮勤労者山岳会)
- 〃 尾手利雪 (三郷山の会)
- 〃 加納隆夫 (新座山の会)
- 事務局 木村哲也 (熊谷トレッキング同人)
- 会計 嶋田好枝 (新座山の会)
- 理事 天野二郎 (日進山岳会)
- 久保典子 (新座山の会)
- 小松勝浩 (三郷山の会)
- 佐藤久子 (〃)
- 澤藤俊昭 (あすなる山岳会)
- 高橋利男 (富士見峠山の会)
- 長谷川貞子 (大宮勤労者山岳会)
- 若木由和 (上福岡山なみHC)
- 松本千代子 (所沢ハイク)
- 水谷 克明 (浦和山の会)
- 監事 杉江 勲 (新座山の会)
- 廣岡美恵子 (山遊会ビスターリ)

*全国理事

- 井芹昌二・藤柳啓志 (登攀クラブ岩つばめ)
- 伊藤正勝 (わらび山の会) 大澤辰雄 (埜歩歩)

- *委員…ハイキング (佐藤久子)
- 遭難・救助 (今井雅文)

休憩をはさみ 第1回 理事会開催の結果 三役以下の役員を決定。総会には欠席でしたが都合により退任する矢崎理事を紹介し、新役員挨拶では再任された武笠理事長から新役員全員

質疑応答を終え、第四十四期活動報告と会計決算報告と監査報告、第四十五期活動方針案と予算案を一括で採決！賛成多数で可決、承認されました。続いて、四五期 埼玉県連盟新役員の選出について、選挙管理委員から理事候補者(別紙)(武笠 他 18名)が提案され、規約の定数以内の為、代議員多数による拍手で全員信任されました。



の紹介と挨拶の後、無事に議事を終了。最後に議長を解任して第四十五期定期総会を閉会しました
総会終了後には来賓の斉藤全国連盟理事長等を囲み懇親会を開催。和やかに交流しました。(井芹・石川 記録より)



今年も例年通り開校式を迎えることが出来ました。募集前から問い合わせも多く、募集開始早々に定員数三〇名に達して募集ストップとなりました。開校式は例年通り武笠登山学校長挨拶から始まり、ガイドンスは、駒崎事務局長から学校の目的・概要や昨年の講座紹介がありその後一七期講座の紹介を、運営委員の紹介も兼ねて各担当運営委員から説明がありました。その後受講確認書の提出をしていただき三〇名全員が入校されました。

受講生も二〇才台〜七〇才台まで六世代の幅広い方の参加をいただけてスタートが出来ました。登山を始めたばかりの方、単独が主で自己流の山歩きをされていた方、久しぶりに山登りを再開された方など参加理由は色々ですが皆さん意欲に燃えている方ばかりで、これから始まる計八回の講座がとても楽しみになりました。

色々な年代の方が、山登りという同じ土俵で楽しめるのも登山学校の良いところです。参加される皆さんには、この登山学校で多くの山仲間を作っていただきたいものです。



第17期登山学校 開校式

5月22日
説明会・開校式
カルタスホール
36名

今年には運営委員の担当講座を変えたり担当講師を変えたりと、講座の内容にも変化を付けました。無事故で充実した登山学校に成るように運営委員も討議を重ね六月の講座を迎えます。

受講生の皆さん、運営委員の皆さん参加者全員で楽しく充実した登山学校に行きまします。ご協力よろしくお願います。

事務局 小松勝浩記



@登山学校から!

6月「計画から下山まで」

- 実技 6月10日
- 栃木大小山 33名
- 無事終了

【第2回講座】

登山と運動生理学

- 机上 7月7日(土)
- 実技 7月8日(日)
- 那須岳



東日本震災支援活動

石巻ボランティア活動に参加して

期日 平成二十四年四月十三日～十五日

新座山の会 E.U

こんな年寄りが行ってもお邪魔になるだけでは?と担当の方にお聴きしたら被災地を訪ねることに意義があるとのこと、その目的のみで参加させてもらいました。

活動は牡鹿地区のボランティアセンター(VC)に当日ごとに申請を出してその指示のもとに場所と時間が決められ終わったらセンターに報告することで終わります。

十四日朝、活動前に時間があつたので「見学するとよい」と薦められていた牡鹿半島の最先端と金華山を見に行きました。半島と島が津波の力で「モーゼの十戒」の話のように海だつたところが地続きになる現象が起きたところです。実際に目撃した人から聞いたという人が説明してくれました。津波が島をはさんだ両側から押し寄せ半島との間で大音響と共にぶつかり



小網浜地区 ①



小網浜地区 ②

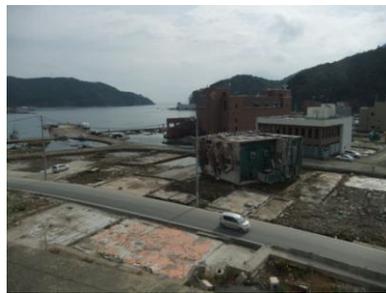
水が引いていって地底が見えて地続きになったというところで、大自然の大いなる力に、一同興奮を覚えました。金華山には人は住んでいないが、登山道が壊れてしまったので、その面で労山の会員の協力で、それも高い登山技術のある人が求められているとのこと。今は島への船が出ないので自費で船をチャーターする必要があります。

△△に戻り、活動場所を指示されてそちらに向かう。大きなバスで来ていたボランティア団体も、一人埼玉から夜行バスで来て路線バスを乗り継いできた女性も我々と同じ場所でした。大きな瓦礫は片付いていますが、細かいゴミや石等を拾い集め種類別に分ける作業でした。ホタテの養殖の村で、養殖に使う貝も使えそうなものは分けて集めるのでした。曇り空で風も

冷たく寒かったが、雨には降られずに助かりました。

三時半に作業が終わってからは高い所に残っている神社に登ってみるとお社のすぐ下の階段まで壊れていました。ここから海を見ると被災当日の地獄を想像せざるを得ません。見学を予定していた女川港に向かいました。途中幾つもの消滅してしまつた村や町、人気の無い地区を通り過ぎて女川港につきました。

海から二〇メートルの高台にある大きな病院のさらに一階の天井まで津波が来たという印が、今では世界の赤十字の支援で復



女川倒壊ビル

活している新しい建物の柱に刻まれていました。片隅には犠牲者の供養のための仏様が安置されていたので皆、手を合わせる事ができました。被災者の人が我々のような見学者に被災の様子を説明してくれていました。そして下の漁港には横倒しになつた鉄筋コンクリートのビルがそのままになつている。どこを見ても津波の爪跡をこれでもかというくらい見せ付けられる。

道路も亀裂が入ったり歪んだり、路肩の崩落もある。そして児童の大多数が命を奪われてしまつた大川小学校のある地へ向かつて。被災前は立派であつたろう校舎の鉄筋が剥き出し折れ曲がつている。供養のお地藏様が我々を迎えて下さっているの、とにかく手を合わせて在りし日の学校の様子を思い浮かべました。何も無い校庭に立つた時、ここに集められて避難誘導を待っている子供たちの姿を思つたら胸がいっぱいになり苦しくて居たたまれない気持ちになりました。現場に立つということはこのことなのかと思ひました。

宿泊先の水沼センターへ戻り食事をしながら、活動のお世話してくださっている元石巻労山会長の岡さんのお話を伺いました。ボランティアを受け入れるためのシステムを作つてくださったから我々もスムーズに活動に参加できるのだということがよく分かりました。各団体との連絡、調整など大変ご苦労なさつていられるようです。

△△日は、昨日の場所近くの道路わきの瓦礫処理でした。ここは狭いところでしたが、ゴミが多く車のパンパーなどが多かつたです。倒れている木を鋸で切つたりする仕事も有りました。集めたゴミをネコ(一輪)車に載せて100m位、離れた所に運びます。

今日集まつたのは外国の人が多い人くらいのグループ、昨



石巻倒壊されたままのタンク

日も一緒だった埼玉の女性と我々だけで数としては少なかつたです。昨日と違って天気も好く風も無くて汗ばむ陽気でした。今日はお昼までの予定でしたので△△まで戻り、近くのプレハブのミニ商店街で昼食をとり石巻市内に向かいました。広い道路の真ん中に流れ着いた大きなタンクはそのまま保存されるとか、何も無くなつてしまつたただただ広い平らな町の跡でした。町を見下ろせる日和山に登りました。鹿島御子神社があつて普段ならお花見の名所のように思ひました。震災前は松の木越しの海を眺める見晴台なのに。ここから帰路につきました。震災直後のめちやくちやという光景ではないが一年の余過ぎた今でも復興にはまだまだ程遠い現地を見せてもらいました。やはり心潰れる想いで東京に戻つてきました。



筆者と参加者

機関紙委員会より

①印刷部数削減にご協力を!

総会での意見にあつたように、PC利用しHPでカラーの県連機関紙閲覧が出来る会員も多く、会員数送付しなくてもいい加盟団体は、減らした送付希望数を連絡下さい。印刷代と発送費の節約にご協力をお願い致します。

②加盟団体の動き、その他 山行記録等 原稿募集中!

県連に加盟する各山岳会を順番に紹介しています。会の特徴やユニークな会活動、また最近の会山行記録等 何でも結構です。題字込み 500~1000字以内で、写真2~3添付で メール sawahuzi1040yamato@hotmail.co.jp

2012年度 「救助隊 搬出技術訓練報告」

期日 5月13日(日) 8:00～16:00 天候 晴れ

場所 群馬県・裏妙義ロックガーデン

参加者 隊長・徳重(大宮労山) 隊員・武笠(わらび山の会)
 谷脇(大宮労山) 安田(新座山の会) 長谷川(大宮労山)
 阪井(大宮労山) 小島(大宮労山) 水谷(浦和山の会)
 尾手(三郷山の会) 以上9名

訓練内容 救助隊員の相互の力量確認、安全確認

1. フィックスロープ工作

2. 懸垂下降

3. 負傷者の引き下ろしシステム工作、引き下ろし作業

4. 負傷者の1/3システムでのセット工作、引き上げ作業

救助隊員の相互の力量確認、安全確認というテーマで群馬県・妙義ロックガーデンにて救助訓練が行われた。

当日の妙義ロックガーデンは群馬県連盟の講習会が行われていて群馬県連約30名と埼玉県連の救助隊9名での賑わいであった。

訓練内容のなかでのフィックスロープ工作、懸垂下降についてはあまり問題はなかったけれど、負傷者の引き下ろし、引上げ作業でのシステムセット工作には、とまどいとセット工作時間の遅さがめだっていた。又、引上げ作業でのシステムセット工作にカラビナ使用と滑車使用では力の差が相当ある。

まだまだ力量確認という点で実習経験が必要であると痛感した。

尾手 記



裏妙義ロックガーデン 全景



(フィックスロープ工作中)



(引き下ろしシステム作業)



(懸垂下降)



1/3 引き上げシステム工作中



2012年度 救助隊総会 報告

日時 2012年4月2日(月) PM5:30～

場所 浦和コミュニティーセンター 10階7号屋

出席 17名の出席で総会が開催されました。

- 1) 第1～4号議案は、すべて承認されました事をお伝え致します。
 ※・内容は総会資料といたします。
- 2) 本年度、入隊3名・退隊2名、総員27名でスタート致します。
 ※加盟団体の皆様へ救助隊隊員を募集しています。

2012年4月4日 事務局長 若木 由和

活動方針

- ①年間捜索救助技術訓練を実施し基本的技術を習得し、スムーズな連携の救助捜索へ繋げる活動。
- ②実際の出勤は無い事を願っているが、「いざ出勤」のシミュレーションは常時準備し考えておく。
- ③登山ネットワーク(岩・沢・雪山・山スキー)へのコーチングスタッフの参加派遣していく活動。
- ④遭難防止・安全教育委員会と協力し、「事故情報の提供・ヒヤリハットの研究」の活動を行う。
- ⑤「机上・実技」を通じて山のピンチから抜け出す為にもセルフレスキューとチームレスキューを普及する。

2012年度 救助隊役員体制

代表	武笠真次(わらび山の会)	県連理事長
隊長	徳重博文(大宮労山)	県連副理事長
副隊長	柴山利幸(パル・ブラン)	
顧問	井芹昌二(岩つばめ)	全国副理事長
ブロック責任者		
南部	尾手利雪(三郷山の会)	県連副理事長
西部	安田秋雄(新座山の会)	
北部	浅見政人(熊谷トレッキング同人)	
中部	水谷克明(浦和山の会)	県連理事
事務局長	若木由和(上福岡やまなみ)	県連理事
会計	谷脇京子(大宮労山)	
事務局員	長谷川貞子(大宮労山)	県連理事
〃	尾手利雪(三郷山の会)	
〃	小島 満(大宮労山)	



『第2回岩ネット報告』

平成24年5月26日(土)

奥武蔵・日和田山 男岩

参加者・計8名

初めて岩ネットの練習に参加させて頂き、感想文を書く機会まで頂きました。

講師・理事をはじめ、参加者の皆さんに大変お世話になり、有意義な練習が出来ました。本当にありがとうございます。

新座山の会のメンバーが高麗駅に9時に集合し岩場に到着した時には、すでにロープはセットされ準備万端でした。申し訳ございませんでした、次回はもっと早く来ます。急いで登攀装備を準備し、計4人が集合して練習開始です(1人は仕事の都合で後から参加)。

最初に確保器(ATCガイ



ド・グリグリ等)の説明、確保の方法、登攀中のハンドホルドの取り方を丁寧に説明して頂いた。特に、確保では、「確保者は登攀者の命を預かっているのだから、倒れようが、引きずられようが、握ったロープを離してはいけない」と心に刻み込んだ。

登攀はトップロープで確保してもらっているので安心だ。並行してトップロープを2組セットして頂いていた。もちろん簡



単そうな方にチャレンジ(?)だ。

「最初は登り易い所を探して登りなさい」と指示されたが、あんまり簡単すぎるルートではカッコ悪いので、少し見栄を張って登った。『落ちたらカッコ悪い』と思い、とにかくしつかりしたホールドを探しよじ登った。きっと悪い見本の様な登り方だったろう。最後は、登攀の途中で左手の親指がツル。翌々日には腕と脚がパンパンに筋肉痛になる。最後には苦しまぎれにひざを使った「ひざはダメ」と楥が飛ぶ。かなり無理をして何とか落ちずに登れたが、確保者が引つ張ってくれていた気もする。練習なのだから、落ちるかもしれない微妙なスタンスに

チャレンジするべきだったと反省。

丁寧に御指導頂き、大変お世話になりました。おかげでたくさん勉強できました。これからも、ザイルの友として、よろしくお願いいたします。.....来週も日和田山に行くぞー。

新座山の会・近藤修一 記



◎岩ネット委員会より

岩登りを楽しみたい仲間と、日和田RCTを中心に6月で第3回を終了しました。梅雨も過ぎればいよいよ夏山シーズン！これまでの練習の成果をもとに、グレンデを抜けだし、沢ネット計画や救助隊活動とあわせ、どこか大きな沢登りや岩登りに行きたいと思えます。

近々関東山域の山行を計画していますので、岩登りパートナーをさがしている会員の方は是非一報を！ 次回 7/

担当 松本 ☎ 049-241-6290



2009年に始まり第4回目になる今年は、全体で37名埼玉県連から7名の参加者でした。

以前は気にならなかった体調の変化や、体力の衰えが感じられるようになった頃、労山女性委員会主催のこの体力測定があることを知り、自分の体力の現状や弱点を知るいいチャンスと思い初回から参加しています。

測定内容は昨年と同様、柔軟性・敏捷性など7項目の体力テスト、その他に毎回興味深く受けている超音波診断装置を使った筋肉の厚さ・皮下脂肪の厚さ測定、骨強度測定、そして昨年から加わった血液検査など。

会場である労山事務所の1階から3階をTシャツ・短パン姿の参加者が元気に行き交います。顔見知りになった方との交流も楽しみながら、個人ごとに詳しい結果データが出るので、自分の体力の弱点や不得意分野がはっきりと見えてしまいます。

安全に楽しい登山を少しでも長く続けるには、これらの結果を踏まえ、「自分はどうのような体力管理、体力づく

りを行えば良いのかを知り、今後の登山活動に役立てる。」この体力測定を目指すものです。

初回参加の時、体力測定

の責任者である石田先生から、「年齢とともに筋力は低下していくが、5年間今年よりも下がることはないよう、お肌の手入れ同様に1日15分身体の手入れを行って欲しい」とお話がありました。

全国女性委員会 主催

「第4回女性登山者のための継続した体力管理のための体力測定」に参加して

上福岡山なみハイキングクラブ 岸澤 泰子

今回はこれらが発端となり生まれた「山筋ゴ1ゴ1体操」を実践し、記録したノートを持参しての参加です。この体操を早くから自分の体力づくりに取り入れ、今回の体力テストでは大きな成果を出された方もおりました。

参加した皆さんから沢山の刺激やパワーを受け、日々のトレ

ーニングの大切さを痛感した1日でした。結果報告会は6月27日です。

2012年度・女性委員会名簿

久保 典子	委員長	(新座山の会)	石谷シズエ	委員	(桝歩歩富士見)
金子 節子	副委員長	(桝歩歩富士見山の会)	伊藤美和子	委員	(わらび山の会)
天野	副委員長	(ハイジ)	板垣 良子	委員	(峠山の会)
廣岡美恵子	会計	(ピスターリ)	森田志津恵	委員	(所沢H)
長谷川貞子	理事	(大宮労山)			以上。
佐藤 久子	理事	(三郷山の会)	*女性委員会	定例会	2か月に1回 朝霞台ジョナサンにて開催。
嶋田 好枝	理事	(新座山の会)		その他	行事打ち合わせ 随時

南部ブロック

県民クリーンハイク 報告

奥武蔵・関八州見晴台く高山不動尊

日時 5月27日(日)電車利用、日帰り
参加者 4団体 27名
(わらび山の会、あすなる山岳会、三郷山の会、他)



【記録】

今年西武線の西吾野駅から萩平を経て関八州見晴台(高山不動尊奥の院)から高山不動尊と高山三滝のコース。

南浦和駅6時50分出發して集合場所である西吾野駅には集合時間より少し早目の8時25分に到着。駅を降りると周りは緑に包まれて空気はひんやりと心地よかった。

集合時間には他の団体30数名が揃い準備運動(ストレッチ)や注意事項・班編成・各班のリーダー紹介等で9時30分出發。北川に沿う車道を上流に向かい、西武線の高架下を通り暫く行くと間野住宅地に出、住民に登山口を確認して指道標に従って高山不動尊参道に入る。

民家や住宅地を抜けて、滑りやすい泥坂を暫く登つ



て萩ノ平茶屋にて一本立てる。

ここから少し登ると整備された歩きやすい登山道が続き、やがて右に高山不動尊への道が幾つか下っているが、指道標に従いそのまま尾根道を開八州見晴台へと向かう。

鳥居茶屋のあるグリーンラインに出て、ここで小休止した後、そのまま車道を少し行き関八州見晴台へと向かう尾根道を登る。

ふたたびグリーンラインに出て車道を横切るように関八州見晴台入口に！入り口には大きな指道標が立てられている。

開けた明るい尾根道を登っていくと、満開にはさぞ見事であったであろうと思わずにはいられない程のツツジのトンネルをくぐり抜け、やがて関八州見晴台(高山不動尊奥の院)に到着。



関八州見晴台



ここは、名前の通り奥武蔵・奥多摩や秩父等の山々の眺めの良い台地になっている。東西南北にそれぞれ展望図が立ち、条件さえよければ日光連山や奥秩父の両神山や二子山や三宝山、奥武蔵の武甲山く子持山、蔵山く有馬山、武川岳く二子山や伊豆ヶ岳、奥多摩の天目山や蕎麦粒山、川乗山から御前山・大岳山、丹沢の丹沢山や大山、そして富士山まで望めるとあります。



14:05 下山。下山途中の高山不動三滝の一つ白滝と大滝を巡るが、大滝は有志3名ほどで落差50mほどあり見事な滝でした。車道に出て、そのまま西吾野駅前に15:50到着。

高柳 末雄 記

*参加団体と参加者数

- わらび山の会 6名
- あすなる山岳会 1名
- 芝ハイク 6名
- 三郷山の会 14名
- 合計4団体 27名

*ゴミ回収結果

- ①燃えるゴミ 紙、他 (5.0kg)
- PTボトル (0.5kg)
- ②燃えないゴミ ビン (1.5kg)
- 缶 (2.5kg)
- 合計 9.5kg



周りの景色を十分堪能した後、高山不動尊へ下り、12:30に着いて少し遅めの昼食。各班の共同での昼食に種類を用意してくれていた。重たいのにも有りがたかった。私達は蕎麦にてんぷらと各自で持ち寄った料理の数々でお腹も満腹になり、眠くなりそうー

昼食時の交流にと、今回は昼食後に「誰にでも出来る簡単な応急処置の仕方」として、簡易担架での怪我人を運ぶ方法や、骨折・ねんざ等でのテーピングの巻き方を講習を講習会で学んだ。



高山不動での応急処置講習



簡易担架での搬出



足首テーピング



中部ブロック

県民クリーンハイク 報告

奥武蔵・伊豆ヶ岳 集中

日時 5月27日(日)電車利用、日帰り
参加者 6団体 42名

中部ブロックは西武秩父

鉄道の正丸駅に9時30分に
集合。西吾野駅から伊豆ヶ岳
東尾根を登る「ハイジ」を除
く5つの会が集まりました。

徳重さんが持ってきた軍
手・ゴミ袋(今回は小さい)、
ゼッケン・ごみ取り箸・花の
種を配った。

*大蔵正丸峠コース

大宮(13名) くまざさ(3
名) 浦和(9名) 日進(1名)

最初から間違え大蔵山方面
に行く分岐からコテージに行
き車道を通り正丸峠に行き、

長岩峠・伊豆ヶ岳(12:15着)

*花桐コース 岩ツバメ(9名)
花桐の先で道がなくケルンが
あった。大変だった。(12:15着)

*伊豆ヶ岳東尾根コース

ハイジ(12名)
西吾野から伊豆ヶ岳東尾根の
ルートは長く、しかもゴミ多か
った。(12:45着)

食事後、各会の紹介や集合写
真撮影後13時40分に下山。
正丸駅に15時過ぎに着き、解
散した。

*ゴミ回収結果

可燃ごみ 20 kg
不燃ごみ 110 kg

高橋五男 記



伊豆ヶ岳山頂にて

【記録】

伊豆ヶ岳に行ってきました。
1年に一回のお勤め、お世話に
なっているお山さんを少しでも
綺麗にしようという主旨のイベ
ントです。まあ、文字通り登山
道の周りに落ちていたゴミを拾
い集めるというハイキングです。
正丸駅に9時半の集合だった
が、路線が同じで会の皆さんと
川越駅で合流。正丸駅ではその
他多くの山岳会の登山者もいて、
各コースに分かれて出発です。
リーダーからゼッケン、ゴミ袋、
軍手を渡されて駅右の急な階段
を下りて旧正丸峠へのコースへ
歩き出す。

暫くは舗装された道路でほと



よほど目を凝らして斜面を見
ないとお宝を発見することはで
きない。最近登山者のマナー
がよくなっているのでしょうか？

ところがガードレールが確認
できる車道から、斜面に無数の
カン類が投げ捨てられていて、
瞬間間にゴミ袋は満杯になって
しまった。「まだ先が長いから
適当にしようか」とかの案もあ
ったが、拾い集めると止まらな
くなり、綺麗にかたづけする事
になった。心ないドライバーが気
軽な気持ちで投げ捨てたのだろ
うが、こんなにも簡単にものを
投げ捨てるマナーの悪さという
か、再生可能な物を何の罪悪感
も感ぜずに捨てる文化に怒りを
禁じえない。巡ってゴミ処理の
問題とか、原子力廃棄物の処理
の問題とかまで思考が飛躍して
しまい、暗澹たる気持ちになっ
た。

高山に一旦ゴミをデポして山頂
を目指す。時折小さな岩が現れ
本能的に登るラインを目で追っ
てしまった。

山頂への道は「男坂」「女坂」
があるが、「女坂」は道が崩壊
して通れない。また「男坂」も
鎖場のルートはロープで遮蔽さ
れていて入らないようにと看板
が立てられている。したがって
「男坂」の一般ルートを登る、
トラロープがフィックスされた
急登を登ると山頂だ。

新緑の木々の合間から下界を
垣間見る。良い気持ちだ。昼食
タイムの後山頂のチョットした
岩で即興の講習会?中には2、
5m程のピナクルもあって4手
位のボルダリング、アプローチ
シューズでも簡単に登れ面白か
った。あほなクライマーの「登
りたい病」は不滅です。

しかし山頂直下の東側の崖は
ゴミが一杯捨てられている、斜
面が急でこれを拾うことはでき
ない、ドライバーのマナーに怒
り心頭だったが、ハイカーのマ
ナーもまだまだの様だ。13時過
ぎに連盟のブロックの山の会の



大蔵分岐の祠



かめ岩



昼食後、会の紹介と記念撮影を行う。

紹介、それぞれ5つの会の代表
が挨拶して解散。

下山は小高山分岐から正丸駅
への最短距離の道を行く。時折
見え隠れする岩が現れ名前が付
いていた。登れないことはない
けれど、通り過ぎるだけの岩場
です。杉林の暗い道を下ると車
道に出て正丸駅に着いた。それ
ぞれの会が集めたゴミの山は半
端ではなかった。駅すぐそばの
茶店でご苦労さん会で一杯。

冷たい泡が最高でした。皆さん
ご苦労様でした。(T.O.S記)
(*大宮労山 HPより転載)



伊豆ヶ岳山頂にて

- *参加団体と参加者数
大宮労山 (13名)
くまざさ山岳会 (3名)
浦和山の会 (9名)
日進山の会 (1名)
岩ツバメ登攀 (5名)
ハイジアルペンクラブ (1名)
総計6団体



左が可燃ごみ 20kg、右が不燃ごみ 110kg

第3回理事会が5月30日(水)さいたま市民活動センターで10名の出席で行われました。

***全国連盟活動**

・6/30 新特別基金担当者実務会議(於: 連盟事務所)

***県連全体活動**

【事務局】

・第1回評議会等会場予約連絡

【財政】前期連盟費納入状況(9団体未納、手紙で納入願う)

【機関紙】178号総会他3ヶ月分編集、6月中に発行予定。

【HP】岩ネット・震災支援活動、女性委員会等の報告掲載。

・各委員会のHP担当者決定。

【女性】

・5/26 体力測定 7名参加。

・6/10 山筋ゴーゴー体操講習会 募集人員30名(締め切り)。

【ハイキング】5/30委員会

・今後の予定等: 地図読み実技放射線測定ハイイク、全国HC

リーダー学校(9/15~16)参加。次回委員会 6/27

【自然保護】5/27 県民クリーン

ハイイク報告(別紙) 放射線線量計を借入、登山道の測定を。

【海外】

・5/18~22 韓国漢拏山・智異山(新座山の会14名)

・5/13~25 韓国漢拏山・オルレ2・智異山縦走・月出山(三郷山の会7名)、

・ネパールランタン谷(三郷山の会1名)。

【遭難防止・安全教育】

・安全登山・事故防止についてのメッセージを発信済。

【救助隊】5/28 救助隊役員会

・5/13 第1回訓練山行 裏妙義ロックガーデン 9名参加。今迄に学習した技術、器具の使い方の確認。

・7/9 沢搬出机上、7/22 実技

【登山学校】5/14 運営委員会

・17期 5/19 開校式 30名(18名無所属)。スポーツ参加は

定員の為、2名まで!

・第1回講座「計画から下山まで」6/9(机上)6/10(大小山)

・第2回講座「登山と運動生理」7/7~8 実技: 那須岳

【岩ネットワーク】

・5/26 日和田山 8名参加。

【沢登りネットワーク】

・具体的な計画を次回提案。

【ブロック活動】

南部: 5/24, 6/21 ブロック会議

クリーンハイイク計画、交流HC

西部: 6/14 委員会 (11月交流ハイイクの打ち合わせ)

【議題】

1、クリーンハイイク取組状況

西部: 15:30 吾野駅集合

9 団体 8 5 名

南部: 関八州~高山不動

3 団体、他 3 2 名

中部: 伊豆が岳

6 団体、4 2 名

北部: 破風山

3 団体 4 7 名

(合計 2 1 団体 2 0 6 名)

2、第14回遭難防止・安全教育担当者会議について

6月17日(日) 9:00~

於: 高鼻コミュニティセンター

議題

① 春山遭難事故の検討

中、各地で合計13名の遭難者があった事について。

② ヒヤリハット事例検討

熊谷トレッキングほか

③ 救助隊からセルフレスキューのアピール。

3、第1回評議会について

6月17日(日) 13:30~

於: 高鼻コミュニティセンター

書記(南・北部)

議題

① 賠償保険加入アピール

② 登山学校参加確認書、岩ネット参加申込み及び確認書周知

③ 新特別基金申請周知事項

④ 個人会員制度について

⑤ クリーンハイイクについて

⑥ その他

○懇親会 16:30 頃より 大宮駅東口『はなの舞』理事長: 予約

4、東日本大震災支援活動

・5/19 関東ブロック役員会

*意見として、支援活動・寄付金等も含めて一旦区切り、今後の支援活動について検討をしていきたい。

・6/22~24 支援活動 秩父アレン、上里HC

5、その他

・6/12 日本山岳会: 安全講演会『山岳気象に伴う遭難事故』

講師: 猪熊氏

次回 第4回理事会は

6月27日(水) パルコ9階で

以上 佐藤

◎自然保護委員会より

梅雨も半ばを過ぎ、尚も鬱陶しい毎日ですが、いかがお過ごしですか!さて、この度、全国連盟より放射線量計を1台借用しました。近々関東山城の山行を計画しているクラブに測定をお願いしたいので各ブロック単位でも個別でも構いませんので協力を依頼してください。機器の操作は極めて簡単でボタンを1つ押すだけです。申し込みは加納までご連絡ください。受け渡しは宅急便で行います。宜しくお願いします。

担当 加納 隆夫 ☎ 048-201-2270

第12回 東日本女性登山交流集会

つなげよう仲間と希望の輪! さくらんぼ集会

東日本大震災から全国の仲間が東北へ心を寄せ、「いっしょに山に登ろう!」と共に夢見て来ました。そして1年が経過した今、「第12回東日本女性登山交流集会」が奥羽東北の仲間の応援の元、山形で開催する事となりました。

埼玉県連女性委員会としてもこの集会に取り組み、参加する予定です。一人でも多く参加し、自然や文化の豊かな最上町でお会いしましょう。そして、全国の仲間の皆さんと、交流しましょう。

期 日 10月13日(土)~14日(日) 一泊二日
会 場 赤倉温泉「あべ旅館」 山形県最上町
参加費 1万円 閉め切り 8月6日(埼玉県連)
内 容 10/13(土) 講演会&交流会 ・受付12:00・開会13:00
講師 登山医学界野口いづみドクター
保健学博士 石田良恵先生
高桑順一氏(神室連峰の自然を守る会)
夕食&交流会
10/14(日) 神室連峰交流登山 紅葉のみちのくのアルプス
主 催 日本勤労者山岳連盟 女性委員会 主 管 山形県勤労者山岳連盟
申込み **各会ごとに全国女性委員会へ申し込む!** 閉め切り: 8月6日(埼玉県連)

(申込書に記載の上、同じものをメールで久保の所までお送り下さい。)
控えとします。) 記入済み申込用紙送付先 eメール

kubol0@orion.ocn.ne.jp

*男性・女性・どなたでも参加できます。わからないことは近くの女性委員、県連理事、または新座山の会 久保まで連絡ください。埼玉では8月6日を締め切りとしました。神室山は素晴らしいところですよ。お早目の申し込みをお勧めします。

【編集後記】梅雨も明ければよいよ夏山シーズン! 皆さんそれぞれにこの夏山計画やら準備で多忙の毎日かと思えます。

さて、県連総会が終えてからもう3ヶ月が経過してしまいましたが、機関紙の発行が遅れて大変申し訳ありませんでした。

怠っていた訳ではありませんが、これまでに寄せられた主な活動経過報告を掲載し、今後はしっかりと定期発行に向け努力して参ります。原稿のご協力をお願いしてお詫びを申し上げます。

(いつまでも遊んでいる訳にもいかず、近くに再就職しました。これまでと違い休日が不規則で山行計画が組めないのが悩みです。) 休みが欲しい~! (澤藤)